報知ボーイズリーグ

2年生ピックアップ第2弾

今闘志満ちて近づく決戦の秋

ボーイズリーグ九州ブロックの過去記事やチーム情報、新聞購読や写真購入方法はスポーツ報知西部本社ウェブサイトにも掲載しています。

中学生の部は本来なら新チームの戦いが始まっている時期。しかし福岡県ではコロナ禍で公式戦の中止や延期が相次ぎ、全体練習を行うことが困難なチームもある。我慢の日々が続くが、10月に予定されている秋季大会（九州大会予選）に向け、今できることを精いっぱいやっていくしかない。8月以前の大会でも活躍していた福岡県内3支部の2年生をピックアップする第2弾は、福岡県北支部と北九州支部。中止となった「ふくやカップ争奪野球振興大会」に出場予定だった両支部24チームの登録選手名簿と合わせて紹介する。

ゼット旗大会で勝負強い打撃を見せた八幡の井手玲央

3年生が相手でも好投を続けていた八幡南の鍋太樹

九州さわやか大会で好投した上津役の河原理人

九州選抜大会予選準決勝で2打点を挙げた戸畑の野元麗旺

打撃だけでなく、守備でも軽快な動きを見せる飯塚の今村稀翠

勝負強い打撃で北九州大会決勝進出に貢献した直方の大原蓮琥

九州選抜大会予選準決勝で好投した京築の千原和博

北九州支部

北九州支部は4年間で秋季大会を3回制している八幡南が今年もスタートダッシュを決めるか。エース候補の右腕・菅太樹は北九州大会で打力のある九州古賀の3年生相手に好投。また捕手の長谷川舜も8月以前の公式戦でマスクをかぶる機会が多かった。

小倉は昨年12月の本田正記念大会決勝で九木田禅が3安打4打点と打ちまくった。優勝した北九州大会決勝では林結大が先発で力投。2年生は7人と例年に比べると少数だが上位戦線に食い込んでくるか。

八幡は3年生が3人だけだったが、2年生の活躍もあり5月以降の地区大会で好成績を挙げた。2勝したゼット旗大会は井手玲央が好機で長打を放ち貢献。また4強入りした北九州大会では勝負強い打撃を見せた一瀬拓希や遊撃の中上輝星らのプレーが光った。

上津役は3月の九州さわやか大会で河原理人が好投して4強入り。戸畑は野元麗旺が九州選抜大会予選準決勝で2打点を挙げ、鹿児島大会でも長打を放って勝利に貢献した。

山口防府は昨年の1年生大会予選で優勝しており、新チームでも全国出場を狙う。山口は1年生の頃からレギュラー戦の大会に出続けており、経験値が高い。3年生が3人だった八幡西も実戦慣れしている。

昨年の本田正記念大会決勝で4打点を挙げた小倉の九木田禅

福岡県北支部

福岡県北支部は7月のジュニア大会を制した飯塚が上位戦線をリードしていきそう。特に今村稀翠と酒井鈴央は3年生がいた頃から活躍。今村はジャイアンツ杯予選で5番・遊撃として攻守に、捕手の酒井は先輩投手の剛速球を受けて本戦出場権獲得に貢献した。

京築は3年生が多かったため2年生の公式戦出場機はわずかだったが、その中で千原和博は九州選抜大会予選の準決勝などで登板機会があった。ジュニア大会準決勝では先発して4回途中まで無安打だった。

直方は大原蓮琥が準優勝だった北九州大会で投打に活躍。津田優和が西日本選抜優勝大会でバントや巧打で優勝に貢献した。宗像は満川脩や寡多柏斗らがゼット旗大会で躍動した。

中間は3年生がいなかったため、どのチームよりも実戦慣れしているのが強み。まずは現指導陣での初勝利を目指す。今年デビューした豊前は杉本颯星が8月のお別れ大会で捕手、投手を務め、2安打と大活躍。3年生主体のチームとも互角の勝負を展開した。

8月のお別れ大会で攻守に活躍した豊前の杉本颯星

中間は現指導陣による初勝利を目指す